

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [技術・家庭（技術分野）]

教科の目標	○生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図る。 ○それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関連との関わりについて理解を深める。 ○生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、具体化し、実践を評価・改善するなどをする。 ○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
-------	--

	観点	知 識・技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主体的に学習に取り組む態度
3 年	趣 旨	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	評価の 重点	・積極的な授業への参加（発表、発言、質問、聞く態度等） ・提出物等への自主的な取り組み ・製作物等の状況（作業時間、道具の使い方、仕上がり状況など）	・様々な解決方法の探求や工夫（提出物の内容、作業時の工夫、発明創意くふう展等） ・「生活や社会を支える技術」、「技術による問題解決」「社会の発展と技術」を踏まえ、学習過程における位置づけを踏まえた思考力など	・粘り強さ（知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることへの粘り強い取り組みなど） ・自らの学習の調整（粘り強い取り組みの中で自らの学習を調整しようとする取り組みなど） ・学びの経験を通して、涵養された、技術を工夫し創造しようする態度

	単 元・教 材・題 材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
通 年	題材3－1 情報とコンピュータ	○コンピュータシステムの構成とソフトウェアの働きを知る。 ○コンピュータがもつ主な機能と主な装置の仕組みを知る。 ○コンピュータが機器を制御していることを知る。 ○コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みを知る。（プログラムによる計測、制御、生活の中にある制御、計測・制御システム）	○授業観察（発表、発言、質問、聞く態度等） ○作 品 ○ワーク、レポートの提出 ○定期テスト ○小テスト ○プログラム

	題材 3－2 情報の表現と伝達 題材 3－3 計測・制御による問題解決 題材 3－4 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	○情報を処理する手順を知り、目的や条件に合うプログラムを作成する。 (処理の手順とプログラム) ○ 情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を知る。 ○ 情報の表現手段やコンテンツの特徴を知る。 ○ 情報通信ネットワークの構成や情報をやり取りする仕組みを知る。 ○ W e b における情報の表現方法を知る。 ○使用するロボットにおける基本プログラムの作成 ○計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ○お互いのコメントなどを送受信できない簡易なチャットのプログラムを制作する。 ○双方向のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。	(工夫、技能、作業効率等) ○授業観察 (発表、発言、質問、聞く態度等) ○作 品 ○ワーク、レポートの提出 ○定期テスト ○小テスト ○プログラム ○授業観察 (発表、発言、質問、聞く態度等) ○ワーク、レポートの提出 ○プログラム ○授業観察 (発表、発言、質問、聞く態度等) ○ワーク、レポートの提出 ○プログラム
3 学 期	題材 3－4 デジタル作品を作ろう	○コンピュータを用いてデジタル作品を製作する。 ○著作権や情報モラルを考え、作品製作を行う。	○授業観察 (発表、発言、質問、態度等) ○作品